

情報技術部のアプリ「ミチテラス」が**全国3位**【理事長特別賞】!!

3月3日付の宮崎日日新聞に掲載されました。
 情報技術部の生徒が制作した通行危険箇所を共有するアプリ「ミチテラス」が高校生技術・アイデアコンテスト全国大会で見事**3位**【理事長特別賞】を受賞しました!

アプリでは、利用者が通行中など危険を感じた場所を登録でき、その情報を地図上で誰でも共有して見ることができます。コンテストでは、交通事故を未然に防ぐ公共サービスとして期待できる点などを評価いただきました。

アプリ名「ミチテラス」には、太陽をつかさどるアマテラスオオミカミにあやかって「危険な道を照らしたい」との思いが込められています。



第3種郵便物認可

佐土原高アプリ全国3位

高校生技術・アイデアコンテスト

宮崎市・佐土原高(萩尾英司校長、681人)の情報技術部と産業デザイン科の生徒計4人が新たに制作した、通行危険箇所を共有するアプリ「ミチテラス」が、全国コンテストで3位相当の理事長特別賞に輝いた。

受賞したのは全国の工業高校生が12作品を出品し、独創性や専門技術などを総合的に競う「高校生技術・アイデアコンテスト全国大会」(1月、全国工業高校長協会主催)の部活動部門。

アプリでは利用者が通行中などに危険を感じた場所を登録することで、

生徒4人開発 交通事故防止に期待

地図上で情報が共有され、誰でも見られるようになる。コンテストでは、交通事故を未然に防ぐ公共サービスとして期待できる点などが評価された。昨年8月に歩行者向けの交通安全アプリを作ろうと開発がスタート。自宅にパソコンを持ち込んで深夜までプログラミングに取り組むなどして、10月に完成させた。名前は太陽をつかさどるアマテラスオオミカミにあやかって「危険な道を照らしたい」との思いを込めた。

開発者の1人、横山侑汰さん(17)は「一から作ったアプリで特別な思い

入れがある。苦戦した部分もあったがうれしい」と話す。今後も改良を加える予定で、児童や高齢者など幅広い世代での活用を目指している。

(中城佑平)

危険箇所を共有するアプリを開発し全国コンテストで入賞した佐土原高の生徒ら

▲宮崎日日新聞 3月3日(金)付 掲載記事